

**フィールド1 快適交流**  
**～人が集い、快適で利便性の高い都市の実現～**

---

### 3 主要事業の概要

※事業費の後の（ ）書きは前年度当初予算額

#### フィールド1 快適交流

#### ～人が集い、快適で利便性の高い都市の実現～

##### ◎良好な都市空間の形成

(施) **地籍調査事業費（上部地区）（建設部 用地課）**

※平成23年度から、「都市計画課」に所管課変更

**15,252千円** (7,498千円)

##### 1 事業目的

地籍調査により土地の一筆ごとの境界、面積、形状等を正確に示すことにより、境界設定時のトラブル等の防止、土地取引及び公共事業の円滑化、災害復旧の迅速化などの効果が得られることから整備を図る。

##### 2 事業年度

平成23年度～25年度

##### 3 事業概要

調査地区：萩生及び大生院（市道上部東西線沿線）の一部

調査面積：1.42km<sup>2</sup>

##### 4 23年度の事業内容

調査地区 萩生の一部

調査面積 0.26km<sup>2</sup>

(1) 委託料 14,080千円

(2) 事務費 1,172千円

##### 5 財源内訳

(1) 県 75% 10,575千円

(2) 一財 4,677千円

(施) **建築基準法指定道路台帳整備事業費（建設部 建築指導課）（新規）**

**33,522千円**

##### 1 事業目的

建築基準法の改正により、指定した道路に係る情報の適正管理及び閲覧の規定が設けられたため、それ以前の包括指定道路も含め、指定道路の位置・延長及び幅員等を記載した指定道路台帳等を整備する。

##### 2 事業年度

平成23年度～25年度

##### 3 事業概要

建築基準法の改正を踏まえ、法第42条で規定される指定を要する道路の道路種類や位置を示す「指定道路図」と個々の道路について道路種類、道路の延長や幅員、位置（地番）などを記載した「指定道路台帳」を整備し、一般に公開する。

4 23年度の事業内容

- (1) 委託料（基礎データの収集、整理、電子化） 33,480千円
- (2) 事務費 42千円

5 財源内訳

- (1) 国 55% 15,066千円（社会資本整備総合交付金）
- (2) 一財 18,456千円

◎道路の整備

(公) **橋りょう維持修繕事業（建設部 道路課）**（新規）

**32,600千円**

1 事業目的

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、既存の市道橋に対して予防修繕を行い、橋梁の延命化を図り、通行の安全を確保する。

2 事業年度

平成23年度

3 23年度の事業内容

- (1) 橋梁修繕設計委託料 東田橋外6橋 5,000千円
- (2) 橋梁修繕工事費 東田橋外2橋 27,000千円
- (3) 事務費 600千円

5 財源内訳

- (1) 国 55% 5,500千円（社会資本整備総合交付金）
- (2) 市債 100% 22,600千円（過疎債（交付税算入率70%））
- (3) 一財 4,500千円

## フィールド1 快適交流

～人が集い、快適で利便性の高い都市の実現～

(公) 上部東西線改良事業 (街路) (建設部 道路課) (新市建設計画)

182,400千円 (220,000千円)

### 1 事業目的

上部地区を東西に結び、国道11号線を補完する路線であるとともに、テクノパーク・広瀬公園・山根公園など、本市の主要な観光施設を直線的に結び、生活支援、観光客の誘致等の観点から重要な路線であることから、早期の整備を図る。

### 2 事業年度

平成21年度～29年度

第1期 平成21年度～平成24年度 (L=387m)

第2期 平成25年度～平成29年度 (L=521m)

### 3 事業概要

(1) 市道中須賀上原線から市道萩生出口本線までの区間

(2) 延長908m

(3) 幅員16m

### 4 23年度の事業内容

(1) 工事費 改良工事 L=230m 50,554千円

(2) 用地費 A=4,000㎡ 61,253千円

(3) 補償費 物件補償 N=4件 46,193千円

(4) 委託料 橋梁詳細設計外 17,000千円

(5) 事務費 7,400千円

### 5 財源内訳

(1) 国 55% 96,250千円 (社会資本整備総合交付金)

(2) 市債 95% 70,700千円 (合併特例債 (交付税算入率70%))

(3) 一財 15,450千円

(公) 角野船木線改良事業 (建設部 道路課) (新市建設計画)

133,700千円 (123,000千円)

### 1 事業目的

新居浜インターチェンジから山根公園を經由し、主要地方道新居浜別子山線・上部東西線を最短路線で結び、国道11号の慢性的な渋滞緩和を図るとともに地域住民の安全と生活経済活動を支えるため、早期の整備を図る。

### 2 事業年度

平成16年度～29年度

### 3 事業概要

(1) 第3工区 (市道国領高祖線～新居浜インターチェンジ)

(2) 延長 680m

(3) 幅員 12m

### 4 23年度の事業内容

(1) 工事費 改良工事 L=188m 42,062千円

(2) 委託料 測量設計業務委託 一式 6,300千円

(3) 用地費 A=1,700㎡ 38,303千円

(4) 補償費 物件補償 N=18件 39,635千円

(5) 事務費 7,400千円

## フィールド1 快適交流

～人が集い、快適で利便性の高い都市の実現～

### 5 財源内訳

- (1) 国 55% 66,000 千円 (社会資本整備総合交付金)
- (2) 市債 95% 58,300 千円 (合併特例債 (交付税算入率 70%))
- (3) 一財 9,400 千円

### (公) 滝の宮山根線整備事業 (建設部 道路課) (継続)

34,180千円 (40,800千円)

#### 1 事業目的

新居浜市の中心地区より上部地区の住宅地を通行する自転車、歩行者の安全を確保するため、本市政枝町三丁目より西連寺町二丁目までの住友鉱山鉄道跡地を利用した自転車歩行者専用道路を整備する。

#### 2 事業年度

平成8年度～23年度

#### 3 事業概要

- (1) 区間：政枝町三丁目から西連寺町二丁目
- (2) 延長：L=2,610m
- (3) 幅員：3.5m

#### 4 23年度の事業内容

- (1) 工事費 改良工事 L=220m 29,215千円
- (2) 用地費 A=45m<sup>2</sup> 2,565千円
- (3) 補償費 物件補償 N=3件 1,600千円
- (4) 事務費 800千円

#### 5 財源内訳

- (1) 国 55% 18,359 千円 (社会資本整備総合交付金)
- (2) 一財 15,821 千円

### (公) 河又東平線改良事業 (建設部 道路課) (新市建設計画) (新規)

20,000千円

#### 1 事業目的

近年の交通量増加により、利便性の向上や安全対策の必要性が増してきていることから、本路線利用者の利便性の向上、安全性の確保を図るため改良を行う。

#### 2 事業年度

平成23年度～25年度

#### 3 事業概要

工事延長：L=210m

#### 4 23年度の事業内容

- (1) 工事費 14,000千円 改良工事 L=55m
- (2) 委託料 6,000千円 測量設計

#### 5 財源内訳

- (1) 国 55% 11,000 千円 (社会資本整備総合交付金)
- (2) 一財 9,000 千円

## フィールド1 快適交流

### ～人が集い、快適で利便性の高い都市の実現～

#### (単) 国道建設推進対策業 (建設部 道路課)

22,190千円 (23,437千円)

##### 1 事業目的

国土交通省が整備を進めている「国道11号新居浜バイパス」の推進に合わせ、接続する市道の拡幅等整備を行い、近隣住民の安全安心な交通の確保を図る。

##### 2 事業年度

平成23年度

##### 3 事業概要

馬淵北筋線拡幅工事外

##### 4 23年度の事業内容

(1) 工事費 22,190千円

・馬淵北筋線拡幅 L=80m

・馬淵本線・萩生西1号線改良工事 L=130m

#### (単) 道路整備事業 (建設部 道路課)

150,000千円 (200,000千円)

##### 1 事業目的

市民生活に密着した市道の改良・整備・修繕・及び老朽化した舗装の更新等、維持管理に努め、市道の適正な機能を維持し、市民生活の安全性と利便性の向上に寄与する。

##### 2 事業年度

平成23年度

##### 3 23年度の事業内容 (22路線)

(1) 工事費	西楠崎南通り線外21路線	84,000千円
(2) 施設修繕料	道路施設修繕	10,000千円
(3) 用地費		6,000千円
(4) 委託料	道路管理委託料、実施設計委託料等	37,000千円
(5) 補償費		10,000千円
(6) 事務費		3,000千円

## ◎JR新居浜駅周辺の整備

#### (公) 駅周辺整備事業 (建設部 区画整理課)

658,600千円 (90,000千円)

##### 1 事業目的

駅利用者の利便性向上のため、南北自由通路や駐車場、駐輪場、南口広場などを整備する。

##### 2 事業年度

平成22年度～26年度

##### 3 事業概要

- ・南北自由通路 W=6m L=約70m
- ・駐車場 A=約1,400m<sup>2</sup>
- ・駐輪場 A=約1,600m<sup>2</sup>
- ・南口広場 A=約2,600m<sup>2</sup>
- ・人の広場 A=約2,550m<sup>2</sup>

4 23年度の事業内容

(1) 補償費：工作物等物件補償	23,000千円
(2) 用地費：用地買収A=約3,220㎡	514,800千円
(3) 委託料：鉄道施設支障物件移設施行委託	100,000千円
(4) 工事費：駐車場整備A=約1,400㎡	15,000千円
(5) 事務費：	5,800千円

5 財源内訳

(1) 国	40%	78,100千円 (社会資本整備総合交付金)
(2) 市債	95%	337,000千円 (合併特例債 (交付税算入率 70%))
(3) 一財		243,500千円

(単) **土地区画整理関連事業 (建設部 区画整理課)** (新市建設事業)

**81,800千円**

1 事業目的

新居浜駅前土地区画整理事業における平成24年度の換地処分及び清算事務に向け、関連する申請図書や資料を作成する。

2 事業年度

平成23年度～24年度

3 事業概要

換地処分及び清算事務に向け、関連する申請図書や資料を作成する。

4 23年度の事業内容

(1) 委託料	69,909千円
換地設計業務	
買収地及び事務所管理業務	
(2) 事務費	11,891千円

5 財源内訳

(1) 市債	95%	65,500千円 (合併特例債 (交付税算入率 70%))
(2) 一財		16,300千円

## ◎安心な住宅の整備

(公)市営住宅耐震改修事業 (建設部 建築住宅課) (新規)

8, 211千円

### 1 事業目的

公営住宅の適正な管理戸数を維持し、「新居浜市公営住宅等長寿命化計画」等により計画的な建替及び耐震等についての検討を行い、住宅のセーフティネットとしての機能を高めるとともに、安全性の確保を行う。

### 2 事業年度

平成23年度～

### 3 事業概要

新居浜市公営住宅等長寿命化計画の策定を行う。

### 4 23年度の事業内容

(1) 委託料 長寿命化計画策定委託料 8, 211千円

### 5 財源内訳

(1) 国 45% 3,694千円 (社会資本整備総合交付金)  
(2) 一財 4,517千円

## ◎公園・緑地の整備

(公)国領川緑地整備事業 (建設部 都市計画課) (継続)

283, 150千円 (179,000千円)

### 1 事業目的

多くの市民が利用する国領川緑地を再生整備し、気軽に利用でき、健康増進・スポーツに親しめる場を提供する。

### 2 事業年度

平成20年度～平成23年度

### 3 事業概要

国領川緑地に水洗式トイレ、休養施設、運動施設等を整備する。

### 4 23年度の事業内容

(1) 工事費 274, 950千円  
便益施設整備工、運動施設整備工、休養施設整備工  
(2) 事務費 8, 200千円

### 5 財源内訳

(1) 国 40% 74,200千円 (社会資本整備総合交付金)  
(2) 市債 90% 159,100千円 (公共事業等債)  
(3) 一財 49,850千円

(単) **公園整備事業 (建設部 都市計画課)**

109,491千円 (89,110千円)

1 事業目的

公園の遊具やトイレ等の施設整備、修繕、樹木の剪定、緑化の推進等、適正な維持管理を行い、市民に安全かつ快適なレクリエーションスペースを提供すると同時に、健康増進や市民相互の交流の場の創出を図る。

2 事業年度

平成23年度

3 事業概要

公園の管理委託、トイレ・遊具の修繕等を行う。

4 23年度の事業内容

- (1) 工事費 27,239千円  
各公園施設(トイレ・遊具等)改修、旧藤田邸解体、敷地造成、樹木剪定等
- (2) 施設修繕料 7,000千円
- (3) 委託料 72,000千円 各公園樹木剪定・除草等の委託
- (4) 消耗品費 2,000千円 花苗等
- (5) 事務費 1,252千円

◎港湾の整備

(公) **港湾施設長寿命化事業 (企画部 港湾管理課)** (新規)

12,000千円

新居浜港務局が実施する港湾整備事業費のうち、一般財源分について負担する。

事業名	事業費	国費	一財
港湾施設長寿命化事業	20,000	8,000	12,000

※以下港務局ベースの事業費

◇ **港湾施設長寿命化事業 20,000千円**

1 事業目的

港湾施設を、計画的かつ適切に維持管理し、施設の安全性を確保するとともに、維持更新費用の最小化を図りつつ、長期にわたって有効に活用していくため、港湾施設の維持管理計画を策定する。

2 事業年度

平成23年度～平成26年度

3 事業概要

港湾施設の維持管理計画を策定する。

4 23年度の事業内容

- (1) 委託料 20,000千円  
港湾施設の維持管理計画策定  
(東港地区：防波堤・岸壁・物揚場・船揚場・浮棧橋 計22施設)

5 財源内訳

- (1) 国 40% 8,000千円 (社会資本整備総合交付金)
- (2) 一財 12,000千円